

社会医療法人厚生会中部国際医療センター

病院の概要

開設時期：昭和28年
開設者：社会医療法人厚生会
院長名：杉山 温人
病床数：502床
標榜科：内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、内分泌代謝内科、呼吸器内科、血液内科、神経内科、脳神経内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、小児科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、形成外科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、緩和ケア科、病理診断科、リハビリテーション科、救急科、総合診療科、精神科、腫瘍精神科、歯科口腔外科

医師数：161名
指導医師数：70名
外来患者数：1,080名/日
入院患者数：465名/日
所在地：美濃加茂市健康のまち一丁目1番地
URL：https://cjimc-hp.jp/



病院の特徴

「地域の、日本の、世界の医療拠点へ」

「全ては病める人のために」という理念のもと、2022年1月に「中部国際医療センター」として新たなスタートを切りました。「中部国際医療センター」という名前には、「世界に通用するハイレベルな医療を提供する」という決意が込められています。そのために、新しい医療機器や質の高いスタッフ、充実した設備を配した医療体制を整え、満足度の高い医療を提供します。地域の健康を守る新たな拠点「健康のまち一丁目1番地」で、健康診断から高度な治療、病後のヘルスサポートまで「健康」を幅広くサポートすることで、地域の皆さんを支えています。

院長メッセージ



杉山 温人

中部国際医療センターでは、地域医療に密着した現場で小児から高齢者に至るさまざまな年齢層の患者さんを診療し、さらに高度医療機器を駆使した最新の医療に触れることによって幅広い分野・領域の研修を受けることができます。「鉄は熱いうちに打て」と言う格言がありますが、医師にとって最初の2年間の初期研修とそれに続く後期研修は、その後の医師人生を左右する重要な礎となります。当院では、医師としての良識と品格を身につけ、安全で安心な医療を行うための基本的診療能力を取得するとともに、患者さんの立場に立った全人的医療を行える医師の養成を目指します。将来の日本の医療を担う責任感とリーダーシップのある医師になっていただけるよう、私たちは病院を挙げて全力でサポートいたします。当院で臨床研修を行っていただき、一緒に働けることを心よりお待ちしております。美濃加茂の地から日本全国へ、そして世界へと大きく羽ばたいて下さい。

指導医メッセージ

中部国際医療センターは、2022年1月に旧木沢記念病院より移転して誕生した急性期病院です。岐阜県中濃地域の中核病院として機能し、多数の救急搬送の受け入れ、またヘリポートも併設し、遠隔の医療機関から重症症例の受け入れも積極的に行っております。旧木沢記念病院より引き継いだ充実した指導体制・指導管理体制、さらに陽子線治療装置をはじめとした豊富な医療資源を持ちます。勉強会・当直カンファレンスを定期的に開催し、皆さんの総合力向上および重要症例の共有を図っています。またネイティブによる英会話教室も毎週開催しており、医師として必須である語学力向上に貢献出来ると思います。ぜひ、医師としての第一歩を中部国際医療センターで踏み出し、自分の目指すキャリアを実現させてください。

研修医メッセージ

中部国際医療センターの研修は自主性が高く、かつ行った手技や検査に上級医からのフィードバックが得られる点が特徴です。当院以外にも自主性が高くやる気があれば多くの手技を経験できる病院はあると思いますが、当院での研修では更に自分が行ったことに対する評価や改善すべきところを学ぶことができるため、効率よく知識や技術を吸収できます。また日直、当直業務が週に1回程度ありますが、研修医1名と上級医1名がセットになって行っており、研修医1人で患者さんを帰宅させることはめったにありません。研修医が主となって患者さんを診ますが、状態の評価や今後の対応をどうするのかは上級医と一緒に考え進めていくため、安心して業務にあたることができますし、1人で診るよりはるかに勉強になります。是非一度見学に来ていただき、当院のよさを実感していただければと思います。

研修スケジュール

	クール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
1年次		内科 28週							救急部門 12週			小児科 4週	外科 4週	精神科 4週
2年次		産婦人科 4週	総合診療 4週	地域医療 4週	選択 40週									

救急当直研修は4回/月、1年次11カ月、2年次12カ月、合計23カ月実施する。

研修協力病院・施設

特定医療法人清仁会 のぞみの丘ホスピタル（精神科） 国立病院機構 長良医療センター（呼吸器内科） 社会医療法人白鳳会 鷺見病院（地域医療）
社会医療法人厚生会 多治見市民病院（腎臓・リウマチ膠原病内科） 郡上市市民病院（地域医療） 津保川診療所（地域医療）
飛騨市民病院（地域医療） 美濃市立美濃病院（地域医療） 岐阜大学医学部附属病院（第1内科・第3内科）

後期研修・専門研修（予定）

内科、救急科、総合診療科、麻酔科、皮膚科の専門医として、修得した基本的な医学知識・技術を卓越した先輩医師たちと更にスキルアップすることができます。専門性を高めながら、地域医療にも貢献できる医師を育成するため、連携施設との協力体制を大切にし、充実した研修環境を提供しています。

【専門研修プログラム連携施設】

	岐阜大学 医学部附属病院	愛知医科大学 附属病院	名古屋大学 附属病院	富山大学 附属病院	福井県立 医科大学 附属病院	多治見市 市民病院	総合医療 センター 岐阜県	岐阜市 市民病院	松波総合 病院	中濃厚生 病院	長良医療 センター	可児とう ろ病院	郡上市 市民病院	名古屋セ ンター二 病院	日赤愛知 医療セ ンター	附属血管 研究所	津保川 診療所	国保診療 所	東白川村 診療所	梶の木 内科
内科	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
皮膚科	○		○				○													
麻酔科	○					○	○	○	○											
救急科	○			○	○	○												○	○	○
総合診療科																				

研修プログラムの目標

医師としての人格を涵養し、医学・医療の社会的ニーズを認識して日常診療で遭遇する疾病に適切に対応できるよう、基本的・専門的診療能力（態度、技能、知識）を身につける。

- 1) 医師としての良識と品格を身につける。
- 2) 安全で安心な医療を行うための基本的診療能力を習得する。
- 3) 地域の基幹病院としての役割を理解し、地域医療の現場を経験する。
- 4) 患者さんの立場に立った人間味のある医療を目指す。
- 5) 多職種とコミュニケーションをとり、チーム医療を推進。
- 6) 国際的に活躍できる医療人の養成を目指す。

募集要項

応募資格：2027年3月に医師免許を取得する見込みである者
募集人員：12名（予定）
身分：常勤臨床研修医師
給与：与：初期研修1年目 740万円/年（諸手当含む）
初期研修2年目 860万円/年（諸手当含む）
住居：等：オール電化1Kタイプマンション、インターネット、セキュリティ完備、当院より徒歩5分
保険：等：健康保険加入、厚生年金、雇用・労災保険加入、医師賠償責任保険に病院で加入（個人加入は本人による）

連絡先

中部国際医療センター 臨床研修医募集係（担当：井村、中島）
電話番号：0574-66-1100
fax：0574-66-1661
E-mail：resident@cjimc-hp.jp

研修プログラムの特徴

当院は、地域医療に密着した医療現場で、小児から高齢者に至るさまざまな年齢層の日常的な診療から高度医療機器を利用した最新の医学診断にいたる幅広い分野の研修を行うため、総合診療能力を高めることができます。全科の支援体制が整備されているので、必要時には他科へのコンサルテーションが可能です。特に、2年目の研修は、診療科の選択自由度が高く、選択履修の範囲を広げるために、例えば、耳鼻科+眼科で1クールといった、2週間ずつマイナーな診療科の症例経験を重ねることができる「マイナーバック制度」を選択することが可能です。研修医ごとにさまざまなパターンプログラムになり、従来以上に個別化された研修医オーダーメイドのプログラムにすることが可能です。

交通案内

